

1. 本授業科目の基本情報

講義名 (コード)	TDB107	キャリアデザイン I (DB)	
科目名 (コード)	TDB107	キャリアデザイン I (DB)	
対象学科	グローバルビジネス学科	配当学年	1年生
対象コース	DB1	単位数	2単位30
授業担当者	井上 洋輔	時間数	
成績評価教員	井上 洋輔	講義期間	春期
実務者教員	いいえ	履修区分	必修
実務者教員特記欄			

2. 本授業科目の概要

到達目標・目的	自己のライフキャリアを見つめなおし、多様なキャリア形成の基礎を養うこと。基本となる知識を調査・発表できるようになること。希望する進路に応じてグループごとに外部進路情報を主体的に調べ発表する。
全体の内容と概要	専門学校へ進学した意味や目的を再確認し、必要なキャリア形成の知識・スキルを自ら調べてアウトプットできるようにする。
授業時間外の学修	授業時間中にわからないことは補助プリントを活用し自分で調べること。授業時間内でのインプット（講義）は最低限とする。不明点は授業時間外に学習者が調べ授業時間内に質問することとする。
履修上の注意事項等	学習者が自ら調べ、自分の意見をアウトプットさせて参加者のフィードバックを積極的に受けるスタイルとする。教員は学習者の発言を促し、授業全体をファシリテートすること。

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件	下記基準に従う。出席は2/3以上が必要となる。1/3以上の欠席の場合、自動的に落第となる。		
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理能力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90~100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80~89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70~79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60~69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	オリエンテーション、学習の流れ	講師自己紹介、学習の流れ、就職活動スケジュール、進学活動スケジュールの確認。ペーパータワーを使ってチームでの協力することの学びを得る。
2	外国人の働き方について知る①	外国人留学生は特定技能1号(外食)マイページ登録をおこなう。求められる日本語力、日本社会が外国人採用をするための心構えについて知る。
3	2年間の学びの目標を考える。	2年間の目標、2年後の卒業式をイメージしてありたい姿を描く。(必要に応じてマングラチャートを活用)グループごとに発表
4	自己の特性を知る。	自己理解。タイプ論に基づいた自己分析ツールを活用し、自己の性格的特徴を知る。学校卒業後進路希望アンケートの実施。
5	自己の進路の情報を集める	「進学」「就職」「起業」「海外留学」の4チームに分かれ、各進路での2年間で取り組むべき事柄、チームの役割、中間目標について調査する。
6	身だしなみ	就職活動で使用するスーツ着用のポイントを知る。「メラビアン法則」に基づき視覚情報の重要性を知る。
7	インターンシップについて理解する	インターンシップとは何か。目的やインターンシップの効果について理解する。「マイナビ2026」登録。きづくインターンシップについて知る。
8	中間発表	「進学」「就職」「起業」「海外留学」の4チームごとに各15分間のプレゼンテーション。各チームごとで振り返り。自己の特性や強みを振り返る。
9	外国人の働き方について知る②	日本国内の外国人労働者数、在留資格(特に特定技能1号)、求められる日本語力、日本社会が外国人採用をするための心構えについて知る。
10	就職活動報告	就職活動を終えた先輩の声を聴き、自己の就職活動の糧とする。
11	企業研究	企業を招き、事前に予習した学習内容に基づき質問しながら企業理念・事業概要・ビジネスモデルについて理解を深める。
12	進学について	3年次編入、大学進学・専門学校の場合、今から準備すべきことを知る。
13	最終発表	グループ発表成果を持って前期評価とする。
14	期末試験	学期試験
15	追試・フィードバック	Feedback

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	
参考文献・資料等	外国人留学生のための就活ガイド2025
備考	

連番	コース	[3] 講義コード	[5] 科目コード	[6] 講義科目名(正式名称)
367	DB1	TDB101	TDB101	オフィスICTワーク I (WORD、EXCEL)
368	DB1	TDB102	TDB102	オフィスICTワーク II (PPT、ACCESS)
369	DB1	TDB103	TDB103	情報リテラシー I (DB)
370	DB1	TDB104	TDB104	情報リテラシー II (DB)
371	DB1	TDB201	TDB201	情報リテラシー III (DB)
372	DB1	TDB202	TDB202	情報リテラシー IV (DB)
373	DB1	TDB105	TDB105	ビジネスマナー I (DB)
374	DB1	TDB106	TDB106	ビジネスマナー II (DB)
375	DB1	TDB203	TDB203	ビジネスマナー III (DB)
376	DB1	TDB204	TDB204	ビジネスマナー IV (DB)
377	DB1	TDB107	TDB107	キャリアデザイン I (DB)
378	DB1	TDB108	TDB108	キャリアデザイン II (DB)
379	DB1	TDB205	TDB205	キャリアデザイン III (DB)
380	DB1	TDB206	TDB206	キャリアデザイン IV (DB)
381	DB1	TDB109	TDB109	ITビジネス演習 I
382	DB1	TDB127	TDB127	ITビジネス演習 II
383	DB1	TDB207	TDB207	ITビジネス演習 III
384	DB1	TDB208	TDB208	ITビジネス演習 IV
385	DB1	TDB128	TDB128	経営戦略 I (DB)
386	DB1	TDB129	TDB129	経営戦略 II (DB)
387	DB1	TDB130	TDB130	マーケティング I (DB)
388	DB1	TDB131	TDB131	マーケティング II (DB)
389	DB1	TDB209	TDB209	ITビジネスとリスク環境論 I
390	DB1	TDB210	TDB210	ITビジネスとリスク環境論 II
391	DB1	TDB132	TDB132	ミクロ経済学
392	DB1	TDB133	TDB133	マクロ経済学
393	DB1	TDB134	TDB134	マネーマネジメント I
394	DB1	TDB135	TDB135	マネーマネジメント II
395	DB1	TDB211	TDB211	金融テクノロジー I
396	DB1	TDB212	TDB212	金融テクノロジー II
397	DB1	TDB136	TDB136	デジタル・マーケティング I
398	DB1	TDB137	TDB137	デジタル・マーケティング II
399	DB1	TDB213	TDB213	デジタル・マーケティング III
400	DB1	TDB214	TDB214	デジタル・マーケティング IV
401	DB1	TDB138	TDB138	デジタル・ビジネス・トランスフォーメーション I
402	DB1	TDB139	TDB139	デジタル・ビジネス・トランスフォーメーション II